

+幸せを探すあなたへ

二枚舌、 その中にかくされた偽りの秘密



地上最大の嘘の事件 2005年にチョ・ミョンナム監督が製作した<大胆な家族>という映画がありました。映画の内容は、北朝鮮に妻と娘をおいて韓国に来て故郷に帰れないキム老人が、彼の遺言状に財産50億ウォンを、統一した時、家族に相続すると書いておいたのですが、キム老人が肝臓ガンの

末期だと診断されたという事実を知るようになった家族が、その遺産をもらうために、地上最大の統一詐欺を繰り広げるといふものです。このように、近頃、世の中を一言で表現すれば、うその世の中と言っても言い過ぎではないでしょう。2009年1月、およそ30代の失業者の嘘に、全国民がもてあそばれたインターネットのミネルバ(Minerva)症候群事件、2月に全国学業達成度成績発表の時、保護者を驚かせたチョルラブド、イムシルの奇跡、2007年に始まって5月28日に大法院で詐欺疑惑などで懲役8年を宣告されたキム・ギョンジュン氏のBBK事件、飢え死にする民は無視したまま、核開発を叫びながら、二セ札(スーパーノート)を作って、世界経済を混乱させている北朝鮮の二重性など、世の中はすっかり偽りでいっぱいになっています。また、ノ前大統領の不正腐敗事件に対して、罪を追及すると刃を振りかざしたマスコミも、自殺以後、政治的他殺であり、殉教者だと180度違うように言うのを見ると、その二重性に心が苦々しくなります。マキャベリは<君主論>で「この世で権力を獲得して維持・拡張することに対しては、宗教的な価値や基準を考慮する必要はまったくない...君主は、もし良い結果が出てくるならば、悪行を行う準備ができていなければならない」と主張しました。これが、私たちが住んでいる世の中の根本の姿です。なぜ、世の中はこういう偽りの誘惑をぬぐい去ることができないのでしょうか。結局は、自分の利益のためか、そうでなければ

人が拒否できない背後の他の力のためなのでしょう。

偽りの真の背後の勢力 神様のみことばである聖書を見ると、偽りの背後について、サタンあるいは悪魔、彼の手下の悪霊だと明らかにしています。目に見えないサタンは、初めから巧妙な嘘で人間をだまして、神様を離れるようにさせました。その結果、人間のたましいは、サタンの支配を受けて、苦難と失敗の中で、願わない苦しみと、分からない問題に陥って、混乱して生きるようになりました。聖書は、サタンについて、天国で音楽を担当していた天使が高慢になって、神様に敵対して墮落し、追い出された存在だと語っています。テコドール8段が墮落しても、その力は残っているように、天使の力をそのまま持ったサタンは、人間に現れて、人生と家庭を倒して、社会と人間関係を倒し、墮落経済を作って、偽りの文化を作っています。あらゆる手段をみな動員して、快楽を与えるようにみせかけながら、真の幸せを奪って行って、暗やみの組織を作ってたましいを荒廃するようにさせます。結局、地獄に入る時まで、偽りの人生を歩むように、継続しています。この偽りの働きに勝つ道はあるのでしょうか。聖書は、その道がまさにイエス・キリストだと確かに明らかにしています。イエス・キリストは、この世に来られて、悪魔(サタン)のしわざを打ちこわして、サタンの力から解放される道となくなりました。誰でも、イエス・キリストを信じる者にはサタンの力を制御する権威、悪霊を追い出す権威をくださると約束されました。今、イエス・キリストを受け入れて、神様の子どもになることが、すべての偽りとサタンの権威から解放される唯一の道であり、真理です。

暗やみが光に勝つことができないように、偽りが真実に勝ったことは一度もありません。

長老伝道企画時代

重職者 - 人生ストーリー

虎は死して皮を留め人は死して名を残す 虎は死んだら皮が残り、人は死んだら名前が残るという言葉です。將軍と卒兵の差、大きい人物と小さい人物の差は何でしょうか。一言で、自分の人生ストーリーがあるかないかの差でしょう。自分の人生ストーリーがある人は、話をむやみにしません。しかし、人生ストーリーがない人は、大部分が不平不満と人に対する批判だけ言います。世界で最高の金持ちと呼ばれるロックフェラーは、今でも世界一の市民で、偉大なビジョンを持った偉大な人物として尊敬されています。彼は、ビルゲイツの三倍を越す財産を持っていて、人類歴史上、最も大きい規模の科学的慈善事業を実行して、教育の発展のために天文学的金額を注ぎ込みました。そして、ロックフェラー医学研究所と財団、十二個の総合大学、十二個の単科大学、4,928個の教会を作って献身しました。彼は1839年、貧しい家庭で生まれて、お父さんの失敗とさまよう中でも、お母さんの信仰と教育で、神様が自分に与えられたお金をもうける才能を発見するようになりました。ロックフェラーのお母さんは、十個の教訓と約束を残してくれました。彼はマラキ3章10節の十分の一献金の約束と、箴言22章29節の自分の仕事をよくする人のみことばを握って挑戦しました。そして「私の財産は、人類の福祉のために使えと神様がくださった贈り物です」と告白しました。ロックフェラーの祝福は、その当時まで終わらず、その子孫は今でもアメリカの中心人物として、神様の祝福を味わっています。

伝道者の人生ストーリー 伝道者は、個人の人生に対してのみことばが整理されなければなりません。言い換えれば、必ず福音に関するみことばと、人生に関するみことば、未来に向かって行けるみことばが整理されていなければなりません。聖書66巻を通して、サタンに勝つ名、人間の運命を変える道、地獄の権威から抜け出す道はイエス・キリストしかないことを唯一性で持たなければなりません。この時、個人と出会う人、家庭、産業、地域に神様の祝福が臨むようになっています。そして、訓練を通してキリストの唯一性を体験して、システムを通して福音運動が持続する答えと、未来を準備する祝福を受けるようになります。自分の職業、職分、状況によって合うみことばを探し出して、整理しなければなりません。そうなる時、講壇で聞いたみことばが、私の人生に一致して、未来に対する方向と時刻表が見られるようになります。これが長老が歩いていく道です。

伝道者は死んでも足跡を残して、弟子は死んでもいのちを残します。

神様の子どもになる
受け入れの祈り

愛の神様、私は罪人です。イエス様が十字架で死んで、復活されることによって、私のすべての問題を解決してくださったキリストであることを信じます。今、私の心の扉を開いて、イエス様を私の救い主として受け入れます。今、私の心の中に来てくださって、私の主人になって、私を導いてください。これから、神様の子どもになった祝福を味わいながら生きるようにさせてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



神様の子どもの五つの確信

救いの確信：イエス・キリストを信じて受け入れたあなたは、神様の子どもになって救いを受けました(ローマ8:15~16、Iヨハネ5:10~13)

祈り答えの確信：神様の子どもはイエス・キリストのお名前でも何でも求めることができ、神様はみこころ通りに必ず答えてくださいます(Iヨハネ15:7)

導きの確信：神様は聖霊であなたの中におられ、あなたのすべての人生を治めながら導かれます(Iヨハネ14:26~27、箴言3:5~6)

救しの確信：あなたのすべての罪はイエス・キリストのあがないの血の力で解決され、神様はだれでも罪を悔い改めれば許して下さいます(Iヨハネ1:9、ローマ3:24)

勝利の確信：救われたあなたは、世の中に勝たれたイエス・キリストによって、どんな問題の中でも信仰で勝利することができます(ローマ8:31~37、Iヨハネ5:4)



神様の子どもの毎日の祈り

父なる神様、イエス・キリストによって神様がいつも私とともにおられて、導かれることを感謝します。

今日も、すべての生活の中で、神様の子どもになった祝福を味わうように、聖霊で満たしてください。

私の家庭と現場と行くところごとに、福音を邪魔して困らせるすべてのサタンの勢力を権威あるイエス・キリストの御名で縛ってください。

どんなこと、どんな問題でも、解決者であるイエス・キリストに任せて、その中で神様のより良い計画を発見しながら、聖霊に導かれる生活になりますように。

私の生活を通して、イエス様がキリストであるということがあかしされるようにして、私の現場に神の国が臨むようにしてください。

毎日、私の生活の中で神様の願いである世界福音化の契約を握って勝利できますように。

今も私とともにおられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

根源的な選択と 真の勇氣



根源的な選択 19世紀が産んだ最高の伝道者で、世界的な大復興師であるムーディー牧師の後ろには、信仰のお母さんペッツィ女史がいました。ペッツィ女史は、夫が死んだ後に残された7男2女を、深刻な貧困の中でも養子に出しなさいという周囲の話を聞かずに、根本的な選択をしました。「私たちはみんな一緒に暮らします。よい牧師である神様が、私たちを助けてくだされば、なにも問題になることはありません。そして、あなたがたは、みんな母を助けてくれれば良いのです」この話を聞いた子どもたちは、母親の愛と信仰を深く悟って、努力してお母さんを助けました。しかし、時々、聞き従わずにわがママを言うときには、お母さんは責任と約束を強調しながら、神様の前に祈るように根源的な選択する方法を教えました。後日、ムーディーは働きをしながら、挫折を体験した時、お母さんから祈りに専念しなさいという切なる要請と、自分のために昼夜に祈っているという手紙を受けとり、もう一度、勇氣を得て勝利できたと告白しました。私たちは、世の中を歩んでいると、選択を間違っただけで困難にあうことが多くあります。ある選択は一生を左右するのもあって、またある選択は、生と死の別れ目になったりもします。この時、私たちは根源的な選択をしなければなりません。根源的なことを見るようになれば、何の問題にもならないことを問題としているということを知るようになります。どんな問題でも、その中に神様の計画があることを知るようになります。どのように根源的な選択ができるのでしょうか。モーセのしゅうとであるイテロ長老は、それまで起きた神様のみことばと、イスラエルの働きを知って証拠を握りました。今日、神様の民である皆さんは、神様のみことばが成就する最も重要な働きの中に入っていることを信じなければなりません。それで、私にきている問題は、神様の祝福であるという事実を悟らなければなりません。そして、神様のみことばと未来に起きることを握らなければなりません。私たちは、創世記3章15節、出エジプト記3章18節、カナンの地のメシヤ、この約束の中に入っています。また必ず必要なことをすれば、神様が力でもにいてくださるといふ信仰の選択をしなければなりません。私たちが行く道が正しい道で、神様の計画ならば、いくら危険でも行くので、行く途中で死んでも行くのです。一度の人生、卑屈に生きる必要はありません。

真の勇氣 今日、神様のみことばを握って真の勇氣を出しましょう。ドンキホーテのように無謀な勇氣を出せということではありません。ヨセフはたとえ奴隷に売られても、真の勇氣を出しました。「奴隷で行く所には、神様の計画がある。どうせ世界福音化しようとするなら、家を出なければならぬのだ。ところで、神様が私をエジプトに導かれた。私は最高の奴隷になろう」聖書を見れば、ヨセフの奴隷現場に主がともにおられたと言われています。どんな迫害と死が迫ってきてもかまいません。正しい道ならば、行くのです。防ぐ者も、勝つ者もいません。神様はなさいます。イテロ長老とモーセの出会いは、単純なしゅうとと婿との出会いではなく、神様の働きを分かちあう美しい祝福の出会いでした。皆さん、人生を歩いていく道に、子どもといっしょに神様の働きを説明することができるならば、どれくらい大きい祝福でしょうか。神様の前に定刻祈りをする時間が最も幸せならば、いつでも祈る時間が最も安らかならば、神様のみことばを受ける時間が最もうれしいならば、働きは今すぐ始まるでしょう。真の福音は滅びません。真の伝道は必ず答えを受けます。真の宣教は自動的にローマ16章の答えを受けるようになっていきます。皆さんが今日、この原理を持って回復して、新しい力を得て勇氣を得る日になることをイエスの御名で祝福します。

説教_柳光洙牧師、整理_チャ・ドンホ牧師

毎日毎日の森の泉

15日(月)

靈的な絵を具体的に描きなさい

(イサムエル 16:13)

ダビデは幼い時、王として油を注がれた後から、実際に王になる時まで、具体的な絵を描きました。過去の困難は、靈的頂上を極めていく最高の土台として、今日の祈りを持って成功する人生の素敵な絵を描きながら、神様がくださる力を持って唯一性に向かって挑戦しなければなりません。

16日(火)

世の政治と福音との関係(ローマ 16:23)

真の福音運動には政治色も地方色もありません。こういうものは、暗やみの勢力が利用する道具になるから、政治家と国家を難しくする暗やみの勢力を打ち砕く祈りをしなければなりません。そして、政治現場に福音を持った弟子が立てられなければなりません。

17日(水)

私を持っている技能に答えられる神様

(使徒 18:1~4)

山の頂上へ上がって下を見下ろせば全体が全部見えるように、靈的な頂上へ上がれば、全てのもが見られます。それで先に私のいる現場で、力を得る時間を持たなければなりません。過去を祝福の土台として、今日、神様がくださる靈的な力を持って、未来に必ず必要なことを握らなければなりません。

18日(木)

エリートに向けての習慣(テモテ 3:14~17)

エリートになろうとするなら、結婚と胎児教育と唯一性に向かって挑戦できるエリートの規律を準備しなければなりません。そして、数多くの知識と情報を福音のなかで正しく整理して、祈りの中で創意性を啓発して、私のことに成功者の習慣を持たなければなりません。

19日(金)

モーセの祈り(出 3:7~22)

神様の力が私の中にあること、私が神様とともにいることを体験すること、聖靈の満たしを体験するのが最高の方法です。靈的な頂上から私の現場をながめて祈り始めたら、神様は最高の答えの座に導いてくださるでしょう。

20日(土)

福音の力を求めなさい!(ローマ 1:14~17)

福音の力で頂上へ上がれば、過去、現在、未来も見えるようになります。契約のみことば(創世記 3:15、出 3:18、マタイ 4:19、マルコ 3:13~15、マタイ 11:28、使徒 1:1、使徒 1:3、使徒 1:8)を握って祈れば、聖靈に満たされ、5つの力を得るようになります。この時間が私たちには必ず必要です。

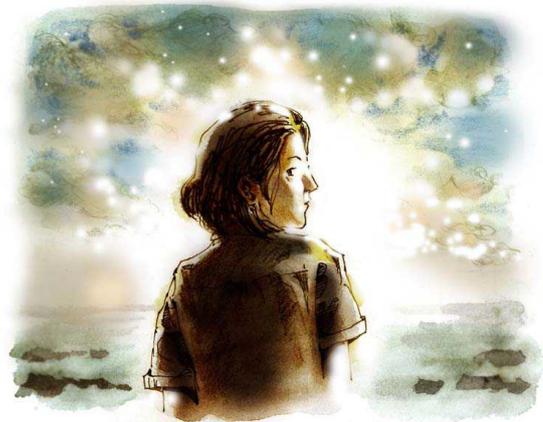
週間メッセージ

教師講習会 私を見つけ、私のことを見つけます

聖日1部 イテロ長老の選択(出 18:1~12)

聖日2部 罪の奴隷(ローマ 6:1~11)

もしかして忘れていませんか



イラスト_ユン・スルギ

旅行に自由に行くことができる国だけが、真の自由国家だと言える。韓国でも、海外旅行が自由化されてから、いろいろな民族の交流が進んで、生活の質も向上したと言えるだろう。

いつか東南アジアに旅行に行った時だったが、いろいろな部類の人が単純に遊びに行くという考えで空港に集まるようになった。飛行機の搭乗券をもらうために、パスポートを集めたが、ある方が住民登録証を出したのだ。住民登録証ではなく、パスポートが必要だと言ったら、チェジュドへ行った時は、パスポートでなく住民登録証だけでも可能だったと言い張った。しかし、結局、その人はいっしょに飛行機に乗ることはできなかった。国内では、身分確認で住民登録証が通用するが、国際的な身分確認用のパスポートを発給してもらわなければならないことを、すべての人が当然、知っていることだと思っていて、確認するのを忘れたみんなの手落ちだった。

あるときは、アメリカに行くために集まった時であった。同じように飛行機の搭乗券をもらおうとする間に、パスポートは持っていたが、アメリカのビザをもらっていないと確認された人がいた。あきれ失敗だったが、当然、知って準備しているだろうと思って、管理することを忘れた進行係の失敗であり、その人は、当然、アメリカ行の飛行機に乗ることはできなかった。人生で当然味わわなければならない価値を疎かにして準備できなければ、このようにあきれたことにあうようになるが、私たちの人生があまりにも忙しいので、時には忘れて暮らしていることがたくさんある。

イエスを訪ねてきた永遠のいのちを求める金持ちの青年が、戒めをよく守っていて称賛を受けていた。多分、彼は一生、功德を積むことで彼自身の人

生で自由にしただろう。しかし、真理の光の前で、彼は自分を表わさなければならなかった。その周辺をささげるのではなく彼自身を神様にささげなければならないことを知ようになった時、彼は自分が救いを待つ人でなく、現実の生活だけ追求する者であることを忘れていた。

一生けん命、忙しくする私たちの一生の人生は、走馬灯のように過ぎ去る。仕事をして、愛して、結婚して、子どもを育てて、老いていっている、そのある日、運命の時間は突然に迫ってくる。その時、運命の前で運命を受け入れる人は、この世で準備することを忘れて十分に準備することもできない人だ。この世は、機会の場所だ。植えたとおりの収穫する自然の論理のように、信仰のとおり働く恵みがある所だ。紙切れ何枚かの違いで外国に行ったり行けなかったりする。この世で渡す紙の何枚かで私の人生を暗やみの中に放置したり、光の祝福の中に入れるようにもする。忘れることは忘れなければならないが、忘れてはいけない重要な事実一つは、人は地から出たのではなく、天から来たので、忘れずに自分の救いを確認しなければならないのだ。

文_チョン・ヒョングク牧師(福音コラムニスト)

* 相談したい方はこちらまで連絡してください